

麻機遊水地公園活用事業 ～自然とふれあう体験型の都市緑地～

静岡県静岡市／令和2年竣工

静岡市の巴川流域の治水対策を目的とする麻機遊水地において、市が河川占用により「自然と触れ合う体験型の都市緑地」をテーマにあさはた緑地（約17ha）を設置し、指定管理者制度により適切なノウハウを持つ民間事業者を管理者に指定し、管理運営が実施（一般社団法人グリーンパークあさはた）されるプロジェクトです。

湿地という特性を生かした農業体験エリアを設け、特産のレンコン栽培や稲作を実施し、水辺エリアでは希少な動植物が見られ、車いす利用に配慮した木道も整備し、多様な生物の生息域確保のため、意図的な刈り残しや刈草によるバイオネストの設置など、自然との共生を念頭に置いた管理が進められています。また、刈草の堆肥化・活用など資源循環も意識し、豪雨発生時には遊水地としての機能を発揮するもので、流域の水害リスクの軽減を図っています。

グリーンインフラとして「公園」「防災」「生物多様性」等の多様な機能・役割を発揮するもので、農園エリアでは特産のレンコンに触れられ、湿地性の里山として自然を体験できます。月2回のマーケット開催、地域の夏祭り会場への提供など地域のシビックプライド醸成にも寄与しており、センターハウスの来場者数は令和5年度には39,000人と順調に増加し、芝生広場や広い駐車場が魅力となっています。

事業概要

所在地	静岡県静岡市葵区赤松2番地の1
土地面積	約77,600㎡（公園管理面積）
事業主体	静岡市
管理運営主体	（一社）グリーンパークあさはた（指定管理者）
主要施設	センターハウス（公園事務所兼ビジターセンター）、炊事棟、農機具倉庫、農園、多目的広場（遊具等）、小川、木道 等
事業スキーム	都市計画事業（都市緑地）、社会資本整備総合交付金 等

取組のポイント

- 河川区域の遊水地用地が、環境学習・農業体験等ができる自然とふれあう場として機能を発揮。
- 湿地という特性を生かし農業体験エリアを設け、生物多様性を保全する水辺エリアでは木道の整備を行い、原っぱで生態系への配慮から意図的な刈り残し部分を作る等の工夫を実施。
- 自治会の夏祭りや年始のどんど焼き、マーケットなど地元の方々のイベント会場としても活用。
- 地元の小中学校生徒によるレンコン畑の整備、特別支援学校の生徒とのミズアオイの群生エリアの整備、市民ボランティアによる水辺の環境保護活動など、多様な人々が公園づくりに寄与。

